

9月定例会



小松正真議員辞職勧告動議・可決

動議

令和4年9月定例会を、8月30日から9月15日まで17日間の会期で開催し、一般質問は13人の議員が市政を問いました。

市が提出した案件は、全21議案で、令和3年度決算関係8件、令和4年度補正予算関係8件、条例3件、その他2件を審議し、すべて原案のとおり可決・承認・同意しました。

最終日の本会議では、議員発議による意見書1件、条例改正1件を可決しました。

提案理由

〈前段に、任意の団体のアンケートに対する小松議員の回答した資料を配布〉

小松正真議員は15日に、16日付けで議員を辞職する旨の届出を提出しました。本会議において辞職届を承認しました。

菊池由紀夫議員の提案は次の通りです。

知らない議長・議員。市民の味方になれない議員。社会のルールから逸脱した言動をする議員。セクハラ議員なんでもつてのほかで恥ずかしい限りです。」

問「市議会の本会議で、一度も一般質問をしない議員がおられますが、どう思いますか？」

答「大いに問題だ。」大前提として一般質問をしないことも議員の権利であるのでそれは尊重したいと考えます。しかしその人が公約として掲げてきたことが一般質問を行わなくても達成できるか甚だ疑問であります。一般質問をできないような能力の議員は、居る意味がないのでお引き取り願いたいと思います。」

これらの小松正真議員の回答は遠野市議会を蔑ろ（ないがしろ）にし、全議員を侮辱する重大な事案で、小松議員は議員資質に欠けるなど、多数の意見がありました。

これが、本日私が、議員辞職勧告決議の動議を提出する理由です。

小松正真議員には自身の言動を振り返っていただき、議会を重んじ、自分以外の議員も尊重する気持ち、姿勢を持って頂きたい。

※議員の辞職勧告

法的拘束力はないが、議員に対し、自らの意思で、議員の職を辞するよう求めること。

別の動議

この動議に対して荒川栄悦議員からは、「議員辞職勧告決議という動議を早急に決するのではなく、令和4年2月3日に議員全員の賛同を得て制定した「遠野市議会倫理規則」に基づき十分に審査すべきであると考えていることから、審査委員会設置の動議が提出された。

審査すべき動議

議員辞職勧告の動議と倫理審査委員会設置の動議が提出されたことから、先に審査すべき動議について採決をとった結果、議員辞職勧告の動議を先に審査・採決することとした。

採決

その結果、質疑3名、反対討論1名の後、無記名投票を行い賛成9名、反対6名で動議は

可決された。

議員辞職勧告の動議が可決されたことから、倫理審査委員会設置の動議は取り下げられた。

質疑

荒川 栄悦
佐々木恵美子
佐々木敦緒
アンケート結果について、小松議員の回答だけ見て判断するのは公平性に欠けるのではないか。

反対討論

荒川 栄悦
議員全員のアンケート結果を調査し、それを踏まえた上で、判断すべきである。

また、遠野市議会倫理規則に基づき取扱審査会を設置し、調査・検証の上、慎重に結論を出すべきと考えることから賛成できない。

弁明

小松正真議員の主な

請願

◆請願第2号

教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の要請に関する請願

「請願者」

岩手県教職員組合花北遠野支部 支部長
高橋 克典 ほか1名
(一部採択)

議員

発議

今定例会では、2件の議員発議案（意見書1件条例1件）が提出されました。

この意見書は、衆参議員議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣宛てに送付した上で、ホームページや公式Facebookで、遠野市議会

意見書

◆発議案第6号

教職員定数の改善を求める意見書

令和2年度末に改正義務標準法が成立し、小学校の学級編制標準が35人に引き下げられているが、中学校においても同様の措置が求められる。

学校現場における、子どもたちを取り巻く環境は、年々多様化・複雑化しており、より

の意思を表明しました。

きめ細やかな指導が必要とされている。しかしながら、これらの課題に十分に対応できるだけの人員が配置されているとは言い難い状況となっている。

よって、国及び政府関係機関に対し、計画的な教職員定数改善を推進するよう強く求める。



学校現場の環境は多様化している

